

第1回 洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会(摘録)

日 時 平成24年10月31日(水) 10時～正午

場 所 洛西ふれあいの里保養研修センター 2階 大枝

出席委員 大田垣委員, 岡本委員, 菊池委員, 八田委員, 平田委員, 南委員

欠席委員 北村委員, 山田委員(代理出席)

本市出席者 壁介護・医療担当局長, 塩見長寿社会部長, 松尾長寿福祉課担当課長

(開会) 10:00

<司会> 松尾担当課長

<開会あいさつ> 壁担当局長

<委員紹介> 松尾担当課長

<議事1> 洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会について

資料3「洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会について」を事務局から説明

<議事2> 委員会会長及び職務代理の選出について

事務局 資料2 洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会設置要綱に基づき, 本検討委員会の会長及び会長の職務代理者の選出を互選により選出したいと思いますが, 推薦はありますでしょうか。

委員 岡本委員は, これまでから洛西ふれあいの里保養研修センターのことを良く御存知だと思いますが, 岡本委員を会長として選出してはいかがでしょうか。

他委員 委員一同 異議なし

事務局 異議がないようですので, 岡本委員に会長をお願いしたいと思いますが, いかがでしょうか。

委員 御指名いただきましたので, お引き受けさせていただきます。

事務局 続きまして, 会長職務代理者の選出を行いたいと思いますが, 洛西ふれあいの里保養研修センターあり方検討委員会要綱第4条第4項では, 「会長に事故があるときは, あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。」と規定し

ておりますが、岡本会長から御指名をお願いできますでしょうか。

会 長 本日は御欠席されておられますが、大阪大学の北村先生はいかがでしょうか。

事 務 局 会長から御指名をいただきましたので、事務局の方で後日北村先生へ確認をとらせていただきます。

会 長 (挨拶)

＜議事３＞

資料４ 洛西ふれあいの里保養研修センターの概要、各種実績

資料５ 洛西ふれあいの里保養研修センターあり方の議論の方向性及び今後のスケ
ジュール案

を事務局から説明

(意見交換)

会 長 事務局からの説明に対して質問、御意見等があれば積極的にお願いします。

委 員 資料３に記載のある「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画に記載のある「宿泊施設の休廃止も含めたあり方の検討」は、本日の配布資料にはあるのか。

委 員 「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画は、本市全体の計画であり本日御用意はできていないが、お配りしている第５期京都市民長寿すこやかプランの８５ページ、２０７番に「生きがいつくり支援施設のあり方の検討」の中に、保養研修センターのあり方検討を掲げており、こちらにも基づき本検討委員会を設置させていただいている。

委 員 老人クラブが研修等会議室等を使うことがあるが、それらの実績は資料のどの部分に含まれているのか。

事 務 局 研修や会議での御利用については、貸館の利用実績に含まれている。

委 員 １０月１１日京都新聞に市民の声として、保養研修センターの利用に対して非常に前向きな御意見があったが、保養研修センターのＰＲはどのように行っているのか。

事務局 指定管理者である京都市社会福祉協議会が中心となり、例えば旅行会社とタイアップし宿泊用の教育プランを用意するなど、学校への働き掛けと積極的な修学旅行生の受入れを行い、広報のみならず新たなパッケージを用意するなど、創意工夫を凝らした取組を行っていただいている。

委員 地域の団体の方は良くご利用されているのかも知れないが、京都府内でも南の方にお住まいの方は、保養研修センターのことを知らない方もたくさんおられると思うので、広報活動はとても大事だ。

委員 数字を見ていると、この数字が高いのか低いのか、おそらく低いと思うが、当初の目標設定はどうだったのだろうか。また、おそらく稼働率が100%に達したとしても京都市からの委託料がなくなることはないだろうが、当初の目標設定に対する現状分析が必要だと思う。

また、建物の中では、宿泊、研修と事業が行われているが、それぞれに利益が出ているのか、出ていないのか、部門別の検証も必要ではないか。

委員 どういう目的で宿泊者は保養研修センターを利用しているのか。

私は下京区に住んでいるが、近くのエミナースの会議室は良く利用している。それは送迎バスが地域まで迎えにきてくれ、非常に便利だからだ。送迎バスを上手く活用すればもっと利用は伸びると思う。

委員 ここ2年程、老人クラブで良く保養研修センターを利用している。高齢者は昼食のみだ。宿泊までは求めている。また、55名の定員であれば、団体利用が難しいのではないか。

委員 研修の観点で言うと、もともと上京区の内職補導センター内に研修センターがあったが廃止され、保養研修センターへ研修機能が移転したが、当時は保養研修センターで宿泊型の研修等が実施されてきたが、今では市内中心部に研修会場も増え、わざわざ保養研修センターへ来てまで宿泊して研修を受講するのか、というのが各分野別の施設長の意見として挙がっていた。

委員 他都市での話したが、総務省の仕事で限界集落など過疎地域に関する取組で沖縄の離島で地域活性化に関する社会実験を行った。その離島では、修学旅行が観光のメインであるが、それだけで良いのかという議論があり、地域にある産業を中高生に体験していただくプログラムを用意した。また、体験学習だけで終わらず、その学習結果が後輩にも残るよう、レポートの提出を義務付けるなど工夫

を行ったところ、島のホテルや民宿が一杯となったことがあった。

保養研修センターは公共施設であるため制約はあるが、地域との連携で魅力あるプログラムを用意しても面白いと思う。

委員 先程、保養研修センターに宿泊するメリットがあるのか、という意見があったが、その通りだと思う。市内中心部にもたくさん宿泊施設がある。

しかし、地元としては、保養研修センターが無くなると淋しい思いはある。アクセスが悪いと言うが、市バス、京都交通、ヤサカバスが桂駅まで10分おきに出ている。また、京都駅までの直通のバスが1時間に3本あり、料金も290円と割と安くなっている。地元としては、交通機関へも様々な働き掛けを行ってきた経過もある。

委員 ゲートボール2面とあるが、どれぐらい活用されているのか。私の地元でもゲートボールは衰退の一途を辿っており、今ではグランドゴルフが主流となっている。例えば、宿泊まで結びつかなくとも、大会を開催するなどして利用者の増加に繋げてはどうか。

事務局 本日はふれあい広場の個別の利用状況の資料は持ち合わせていないため、次回の会議で御用意させていただきたい。

委員 私がカナダのトロントに居た時代、あれだけ木材が多い国の国民が街路樹の枝をもの凄く大切にし、有効利用する。その枝をパルプやペレットに再利用するのだが、高齢者施策がそのまま通用する訳ではないが、考え方は参考になるのではないだろうか。

＜施設見学＞

保養用研修センター内、ふれあい広場を見学

＜意見交換＞

委員 周辺に支援学校や特別養護老人ホームがあるので、もっと連携できれば活性化が図れるのではと思った。

年に1度お祭りを行っている聞いたが、もっと連携が図れることを考えていただければと思う。

委員 桂坂野鳥園とは連携が図れているのか。

委 員 桂坂野鳥園は児童厚生施設として京都市から補助を受けているが、京都市社会福祉協議会の独自事業である。一方、保養研修センターは京都市の施設を京都市社会福祉協議会が指定管理者として運営を行っている。

委 員 保養研修センターで１１月２３日の勤労感謝の日に敬老会を開催したことがあったが、１２０名が利用した。他の学区でも、今までは体育館で敬老会を開催していたものを、今では保養研修センターで開催している学区もあるなど地元も活用している。

委 員 初めて保養研修センターにお邪魔したが、立派な施設であるというのが実感である。施設を一体的に検討するのではなく、宿泊と研修、各部門ごとの検討が相応しいと思う。

委 員 時間が迫ってきたので、なるべく多くの委員の皆様が集まることのできる日で次の会議日程を決めればと思う。

（日程調整）

会 長 １１月２９日（木）１６時ごろから開催とさせていただく。
会場は後日から事務局から連絡させていただく。